

組織グループ JCプログラム委員会

JCIコース及び日本JC公認 プログラムトレーナーの育成

Action! sheet

<運動の背景・目的>

① 実施背景

JCプログラムのヘッドトレーナー(HT)数は減少しており、メンバーに成長の機会を提供するためには、教育システムの基盤を強化することが必要とされている。

② 実施目的

メンバーに成長の機会を提供する意思を持ったトレーナーを育成し、LOMに偏りなく教育の機会を提供し続ける土台を築くことを目的とする。

<実施スケジュール>

10月～	ブロックと面談。トレーナー育成の意義を周知する。ブロック内のトレーナー候補者発掘を依頼。
1月～	ブロック会長にトレーナー登録を依頼。京都会議にて相談ブースを設置し、トレーナー活動に関心のある層を発掘。全国各地にてトレトレの開催。
6月～	新規登録したHTによるプログラムの実施。
7月～	サマコンにてセミナー実施。

<運動推進のステップ>

理想とする未来

個々の能力開発による協議会、LOMの基盤強化がもたらす、家族、会社、地域のために誇れる組織となる未来。

01

トレーナー 制度周知

- ・プログラム実施時、京都会議、連絡調整会議等の場で、トレーナー制度の情報、意義を周知。

02

候補者 発掘

- ・ブロック会長自ら成長の機会を提供する立場となっていていただく事を依頼。
- ・ブロックからトレーナー候補者を発掘。

03

トレーナー 育成

- ・全国各地でトレーナートレーニング(トレトレ)を実施し、トレーナーを育成。
- ・委員会が認定を出し、HTとして登録。

04

プログラム 実施

- ・新規トレーナーとなったHTがブロック協議会や各LOMでプログラムを実施。
- ・各地でのプログラム開催や、トレトレ開催を周知し、トレーナーとしてのスキルを磨く場を提供。

運動
実行

必要に
応じて
軌道
修正

<パートナー、アドバイザー>

- ・ヘッドトレーナー
澤田 健吾 先輩
- ・ヘッドトレーナー
川端 康寛 先輩

全国各地でのトレトレの開催にあたり、ヘッドトレーナーとして数多く登壇いただいた。

<サマーコンファレンスまでの成果>

① 運動としての成果

今年度新たに3名のヘッドトレーナーが誕生、22名が新たにアシスタントトレーナー(AT)となった。

② 地域の変化

新規ヘッドトレーナーが登壇する機会が増加し、メンバーがJCプログラムを受講する機会も増加が見込まれる。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる!
運動の推進議案をチェック!

gian pocket



ACTION!

どうしたらいいかわからない!を解決する
相談・サポートの申し込みはこちらから!
日本JCの会議委員会が、2026年に向け
ての運動構築方法をサポート!

